

入力例 【令和6年（2024年）版】

令和6年「病院運営実態分析調査」の調査票（エクセル）に回答するにあたって、お問い合わせや記入間違いの多い箇所について例を示しておりますので、ご回答の際の参考にしてください。なお、詳細については、「入力要領」をご覧ください。

また、この例については、架空の病院を想定して作成しておりますので、部分的に現実と異なる場合があることをご了承ください。

※ 特に指定が無い場合、金額の末尾は千円です。注意してください。

（例1）

【24】6月分の費用額

科 目		金額（千円）
給 与 費	常勤職員給	102,542,282
	非常勤職員給	16,395,962
	臨時給与（賞与等）	36,314,230
	退職給付費用	8,045,090
	法定福利費	15,899,010

これだと、158億9901万円

【24】6月分の費用額

科 目		金額（千円）
給 与 費	常勤職員給	102,542
	非常勤職員給	16,396
	臨時給与（賞与等）	36,314
	退職給付費用	8,045
	法定福利費	15,899

これは、1589万9千円

（例2）

【32】6月の入院診療収入額

区分	診療科 注：下記の診療科以外の科がある場合は、最も近似する科に含めてください。	6月中の 診療科別 延医師数 (入院+外来)	6月中の 入院延 患者数 在院延患者 +退院患者	入院料等					入院 事務 費の食
				DPC 包括評価 部分	入院基本料	入院基本 料等加算	特定入院料	その他 (室料差額は除く)	
01	内 科	306.4	2,992	50,523,234	4,614,424	819,042	16,038,223	271,432	5,614
02	呼吸器内科								

これだと、505億2323万4千円

【32】6月の入院診療収入額

区分	診療科 注：下記の診療科以外の科がある場合は、最も近似する科に含めてください。	6月中の 診療科別 延医師数 (入院+外来)	6月中の 入院延 患者数 在院延患者 +退院患者	入院料等					入院 事務 費の食
				DPC 包括評価 部分	入院基本料	入院基本 料等加算	特定入院料	その他 (室料差額は除く)	
01	内 科	306.4	2,992	50,523	4,614	819	16,038	271	5,614
02	呼吸器内科								

これは、5052万3千円

病院運営実態分析調査票 1 (病院名等・開設者・病院の種類)

(令和6年6月)

票番号	提出期限
1	8月30日

(1)~(6)まで漏れなく入力してください。「役職」がない場合は、「職員」としてください。

【1】病院名・所在地・調査担当者等

(1) 病院名	〇〇〇〇病院				
(2) 所在地	〒	150-0001	都道府県	東京都	〇〇区〇〇〇〇 1-2-3
(3) 調査担当者	所属	医事課	役職	係長	氏名 〇〇次郎
(4) 電話番号	03-1234-1234		(5) FAX番号	03-1234-5678	
(6) e-mail	marumaru_byouin@ijika.jp				

医療法人の場合は、「特定」「社会」の区別をよく確認して●を付けてください。

【2】開設者 (該当する1箇所に●を付けてください。)

☐ 厚生労働省 (独立行政法人国立病院機構・旧国立病院・療養所)	☐ 都道府県	☐ 北海道社会事業協会	☐ 公益法人
☐ 文部科学省 (国立大学法人)	☐ 指定都市	☐ 国民健康保険団体連合会	☐ 医療法人
☐ その他 (国、独立行政法人)	☐ 市	☐ 独立行政法人	☐ 特定医療法人
	☐ 町 村	地域医療機能推進機構 (JCHO)	☐ 社会医療法人
	☒ 組合 (広域連合)	健康保険組合及びその連合会	
	(都道府県・指定都市・市・町村・組合 (広域連合) には地方独立行政法人を含む)	済組合及びその連合会	
	☐ 日 赤		☐ 個人
	☐ 済生会		☐ 社会福祉法人
	☐ 厚生連		☐ 医療生協
			☐ 会 社
			☐ その他の法人

該当する1箇所を選んで●を付けてください。

旧・全国社会保険協会連合会、旧・厚生年金事業振興団、旧・船員保険会は、JCHOへ●を付けてください。

「(2) 病院の種類(再掲)」は、複数の回答があっても構いませんという意味です。

【3】病院の種類 (1)は1箇所に●を付けてください。(2)は該当する箇所に●を付けてください。(複数回答可)

(1) 病院の種類	(2) 病院の種類 (再掲)
☒ 1. 一般病院 ☐ 2. 精神科病院 ☐ 3. 結核病院 (「精神科病院、結核病院、特定機能病院以外は一般病院に●を付けてください。」)	☒ 1. 地域医療支援病院 (「地域医療支援病院の承認を受けている場合は●を付ける。」) ☐ 2. 「地域医療支援病院」の場合は、必ずここに●を付けてください。 ☐ 3. 「地域医療支援病院」の場合は、必ずここに●を付けてください。 ☐ 5. 療養病棟のみの病院 ☒ 6. 療養病棟とそれ以外の病棟を有する病院 ☒ 7. 臨床研修病院 (大学病院含む) ☐ 8. 開放型病院 ☒ 9. 在宅療養支援病院 (200床未満) または在宅療養後方支援病院 (200床以上) ☐ 10. 介護老人保健施設併設 ☒ 11. 人間ドック併設 ☐ 12. 障害者施設併設 ☐ 13. 介護福祉施設併設 ☐ 14. 指定訪問介護事業所併設 ☐ 15. 在宅介護支援センター併設 ☐ 16. 介護医療院を有する病院 ☐ 17. 介護医療院併設 ☒ 20. DPC対象病院 ☐ 21. DPC準備病院 「DPC対象病院」の場合は、必ずここに●を付けてください。

該当する1箇所を選んで●を付けてください。

「在宅療養支援病院」または「在宅療養後方支援病院」の場合は、いずれもここに●を付けてください。

病院運営実態分析調査票 2 (救急・臨床研修・選定療養費・委託・標榜)

(令和6年6月)

[illegible]

病院運営実態分析調査票 3 (病床数・患者数)

(令和6年6月)

票番号 _____ 病院名 _____

【9】病床数

「実働可能病床数」は「許可病床数」と同じか、少なくなります。

【9】【10】ともに、この列には入力しないよう、ご注意ください。

（注）の許可病床、実働可能病床については、病床数を入力し、実働可能病床は、実働可能病床数を入力します。

許可・実働	合計	一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床	緩和ケア病床 (再掲)	回復期リハ病床 (再掲)	地域包括ケア病床 (再掲)	地域包括医療病床 (再掲)
許可病床数	232	150	40	40		2	5	10	20	8
実働可能病床数	224	150	40	34			4	10	18	3

左記の各病床から、それぞれ再掲してください。

回復期リハ病床、地域包括ケア病床は再掲してください。

【10】6月中の患者数

「月末在院患者数」は「病床数」以下か、同程度になります。

「在院延患者数」を30日で割ると「月末在院患者数」に近い値になります。
(確認例) $6304 \div 30 \div 210$

「平均在院日数」は自動計算させています。貴院の診療報酬や施設基準上(転棟転床、特定除外等を加味した)の平均在院日数と違っていても構いません。

30日を超えません。

入力する際に、桁ズレ等がないように入力してください。12(カ月)で割ると、およそ1カ月間の患者数になります。
(確認例) 入院 $71287 \div 12 \div 5941$
外来 $88981 \div 12 \div 7415$

（注）(1)「月末在院患者数」は、6月30日24時現在の在院患者数をいいます。
(2)「新入院患者数」は、1日から6月までの新入院患者数の合計で、入院を合計した数です。
(3)「退院患者数」は、6月1日から6月30日までの退院した患者も含めます。退院した患者も含めます。退院した患者も含めます。退院した患者も含めます。
(4)「在院延患者数」は、6月1日から6月30日までの在院延患者数の合計で、調査票13の「入院延患者数」と一致します。
(5)「平均在院日数」は自動計算しています。入院基本料の施設基準等における平均在院日数、(4)の在院延患者数の合計と概ね一致します。介護保険に係る居宅サービス利用者がいる場合は、その数だけ多くなります。

患者数又は利用者数等	合計	一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床	緩和ケア病床 (再掲)	回復期リハ病床 (再掲)	地域包括ケア病床 (再掲)	地域包括医療病床 (再掲)
(1)月末在院患者数	197	128					2	8	15	3
(2)新入院患者数	259	243						3	10	1
(3)退院患者数	274	254		4				2	8	
(4)在院延患者数	6,077	3,982	1,254	841			60	240	450	90
(5)平均在院日数 (小数点第1位まで)	22.8	16.0	83.6	280.3				96.0	50.0	50
(6)入院延患者数 上記(3)+(4)	6,351	4,236	1,270	845			60	242	458	90

調査票13の「入院延患者数」(6351)と一致します。
(確認例) $4236 + 1270 + 845 + 0 + 0 = 6351$

調査票14の「外来延患者数」(7494)と一致します。
(確認例) $667 + 6827 = 7494$

(7)6月中の外来延患者数
(=①新来患者数+②再来患者数+③居宅サービス利用者数)

①新来患者数	②再来患者数	③居宅サービス利用者数
7,517	667	6,827

(8)6月中の外来診療実日数
(単位:日)

6月中の外来診療実日数 (単位:日)
23

外来延患者数
(単位:人)

外来延患者数 (単位:人)
71,287

外来延患者数
(単位:人)

外来延患者数 (単位:人)
88,981

(注) ①新来患者数と②再来患者数の合計は調査票14【33】6月中の外来延患者数と概ね一致します。介護保険に係る居宅サービス利用者がいる場合は、その数だけ多くなります。

(10)6月中の救急患者数

救急患者数	うち入院患者数	うち救急専用の自動車等で来院した患者数	うち時間外・休日又は深夜に来院した患者数	うち6歳未満患者数
272	45	75	212	11

病院運営実態分析調査票 4 (死亡数・部屋数)

(令和6年6月)

票番号	病 院 名
4	〇〇〇〇病院

数値を入力する欄において、該当がないときは空欄とし、「0」「0.0」「-」などを入力しないでください。

【11】令和5年度間死亡数及び剖検数

死 亡 数 (単位：人)	剖 検 数 (単位：件)
126	1

令和5年度間の「死亡数」と「剖検数」を入力してください。

【12】部屋数

総部屋数 ※ (病床数ではなく、部屋数です。)					
	1 人 部 屋	2 人 部 屋	3 人 部 屋	4 人 部 屋	5 人 部 屋 以 上
84	9	45		20	10

(例) 1 人部屋が 50 部屋 (50床)

2 人部屋が 75 部屋 (150床)

3 人部屋が 75 部屋 (225床)

4 人部屋が 7 部屋 (28床)

十) 5 人部屋が 0 部屋 (0床)

総部屋数 207 部屋 (453床)

○ ×

病床数ではなく、部屋数です。「総部屋数」が「病床数」を超えることはありません。

(確認例) 調査票3「許可病床数」232床 > 84部屋

病院運営実態分析調査票 5 (入院基本料等)

(令和6年6月)

票番号	病 院 名
5	〇〇〇〇病院

【13】入院基本料等の状況 (1)～(6)は、算定している入院基本料等(1)は複数可)を選んで●を付けてください。
(7)は、算定しているものについて該当するもの(複数可)に●を付けてください。

(1) 急性期一般入院料		(2) 入院料	(3) 精神病棟	(4) 結核病棟
該当する1箇所に●を付けてください。 ☐ 急性期一般入院料1 ☒ 急性期一般入院料2 ☐ 急性期一般入院料3 ☐ 急性期一般入院料4 ☐ 急性期一般入院料5 ☐ 急性期一般入院料6 ☐ 地域一般入院料1 ☐ 地域一般入院料2 ☐ 地域一般入院料3 ☐ 特別入院基本料 ☐ 夜勤時間特別入院基本料 <特定機能病院> ☐ 7対1入院基本料 ☐ 10対1入院基本料		☒ 入院料(届出区分: 2) ☐ 入院料(届出区分: 特別)	☐ 10対1入院基本料 ☐ 13対1入院基本料 ☒ 15対1入院基本料 ☐ 18対1入院基本料 ☐ 20対1入院基本料 ☐ 特別入院基本料 ☐ 夜勤時間特別入院基本料 <特定機能病院> ☐ 7対1入院基本料 ☐ 10対1入院基本料 ☐ 13対1入院基本料 ☐ 15対1入院基本料	☐ 7対1入院基本料 ☐ 10対1入院基本料 ☐ 13対1入院基本料 ☐ 15対1入院基本料 ☐ 18対1入院基本料 ☐ 20対1入院基本料 ☐ 特別入院基本料 ☐ 重症患者割合特別入院基本料 ☐ 夜勤時間特別入院基本料 <特定機能病院> ☐ 7対1入院基本料 ☐ 10対1入院基本料 ☐ 13対1入院基本料 ☐ 15対1入院基本料
(5) 専門病院	(6) 障害者施設等	(7) 特定入院料		
☐ 7対1入院基本料 ☐ 10対1入院基本料 ☐ 13対1入院基本料	☐ 7対1入院基本料 ☐ 10対1入院基本料 ☐ 13対1入院基本料 ☐ 15対1入院基本料	「(7)特定入院料」は、該当する箇所全てに●を付けてください。 ☐ 1. 救命救急入院料 ☒ 2. 特定集中治療室管理料 ☐ 3. ハイケアユニット入院医療管理料 ☐ 4. 脳卒中ケアユニット入院医療管理料 ☐ 5. 小児特定集中治療室管理料 ☐ 6. 新生児特定集中治療室管理料 ☐ 7. 総合周産期特定集中治療室管理料 ☐ 8. 新生児治療回復室入院医療管理料 ☐ 9. 一類感染症患者入院医療管理料 ☐ 10. 特定疾患入院医療管理料 ☐ 11. 小児入院医療管理料 ☒ 12. 回復期リハビリテーション病棟入院料 ☐ 13. 地域包括ケア病棟入院料 ☐ 14. 特殊疾患病棟入院料 ☒ 15. 緩和ケア病棟入院料 ☐ 16. 精神科救急急性期医療入院料 ☐ 17. 精神科急性期治療病棟入院料 ☐ 18. 精神科救急・合併症入院料 ☐ 19. 児童・思春期精神科入院医療管理料 ☒ 20. 精神療養病棟入院料 ☐ 21. 認知症治療病棟入院料 ☐ 22. 特定一般病棟入院料 ☒ 13. 地域包括ケア入院医療管理料 ☐ 23. 地域移行機能強化病棟入院料 ☐ 24. 特定機能病院リハビリテーション病棟入院料 ☐ 25. 新生児特定集中治療室重症児対応体制強化管理料 ☐ 26. 地域包括医療病棟入院料 ☐ 27. 精神科地域包括ケア病棟入院料		

病院運営実態分析調査票 6 (看護・設備・医療機器)

(令和6年6月)

票番号

病院名

6

〇〇〇〇病院

数値を入力する欄において、該当がないときは空欄とし、「0」「0.0」「－」などを入力しないでください。

【14】夜間の看護単位数及び病棟看護師の勤務体制（看護単位数を入力してください。）

	合 計	3交替の再掲				変則3交替の再掲					
		3 交 替	変 則 3 交 替	2 交 替	そ の 他	準 夜			深 夜		
						1人	2人	3人以上	1人	2人	3人以上
一般病棟	4	3		1			1	2		1	2
療養病棟	1		1							1	
精神病棟	1			1							
結核病棟											

(注)「3交替」、「変則3交替」のみ再掲してください。

【15】「3交替」と「変則3交替」は、それぞれ再掲してください。

特定集中治療室（ICU）	4	床
脳卒中集中治療室（SCU）	1	床
母体・胎児集中治療室（MFICU）		床
新生児特定集中治療室（NICU）		床
心臓内科系集中治療室（CCU）		床
新生児治療回復室（GCU）		床
小児集中治療室（PICU）		床
広範囲熱傷集中治療室		床
無菌治療室（手術室は除く）		床
放射線治療病室	2	床
外来化学療法室	3	
陰圧室		

令和3年度調査まで調査票8にあり
ました設問を移行しましたので、漏れ
なくご回答ください。

【16】主な医療機器の保有状況（複数回答可）

1. 骨塩定量測定装置		台	11. CT (64列以上)		台	20. 位置決め装置 (X線シミュレータ)		台
2. 気管支 ファイバースコープ		台	12. CT (16列以上64列未満)		台	21. 位置決め装置 (CTシミュレータ)		台
3. 上部消化器管 ファイバースコープ		台	13. CT (4列以上16列未満)		台	22. 放射線治療計画装置		台
4. 大腸 ファイバースコープ		台	14. CT (上記11～13以外)		台	23. 放射線治療装置 (ガンマナイフ)		台
5. 血管連続撮影装置		台	15. MRIトンネル型 (3テスラ以上)		台	24. 放射線治療装置 (サイバーナイフ)		台
			16. MRIトンネル型 (1.5テスラ以上3テスラ未満)		台	25. 放射線治療装置 (マイクロトロン)		台
7. マンモグラフィー		台	17. MRIトンネル型 (上記15,16以外)		台			
8. RI検査装置		台	18. MRIオープン型		台	27. 放射線治療装置 (IGRT)		台
9. PET (PET)		台	19. 3D画像処理装置 (冠動脈CT・心臓MRI等)		台	28. 放射線治療装置 (RALS)		台
10. PET (PETCT)		台				29. 放射線治療装置 (上記23～28以外)		台

病院運営実態分析調査票 7 (院内システム・診療録体制・患者紹介・情報提供・広報)

(令和6年6月)

票番号	病 院 名
7	〇〇〇〇病院

数値を入力する欄において、該当がないときは空欄とし、「0」「0.0」「-」などを入力しないでください。

【17】院内システムの導入状況

総合システム	
令和3年度調査までは調査票9でしたが、表番号を変更しました。 ※以降、以下のように変更となります。 令3 調査票7 → 削除 令3 調査票8 → 削除 令3 調査票9 → 令6調査票7 令3 調査票10 → 令6 調査票8 令3 調査票11 → 令6 調査票9 令3 調査票12 → 令6 調査票10 令3 調査票13 → 令6調査票11 令3 調査票14 → 令6 調査票12 令3 調査票15 → 令6調査票13 令3 調査票16 → 令6調査票14	
(2) 食事業務システム	(7) 手術業務システム
● 1. 食事オーダー	● 1. 手術管理計画
● 2. 食数管理	2. 在庫管理
● 3. 材料管理	3. 物品管理
● 4. 栄養管理	4. 手術統計
● 5. 食事統計	5. その他 ()
6. その他 ()	
(3) 薬剤業務システム	(8) 看護業務システム
● 1. 入院処方オーダー	1. 看護師勤務計画
● 2. 外来処方オーダー	2. 看護師勤務統計
● 3. 薬品在庫管理	3. 入院患者統計
● 4. 医薬品情報	4. その他 ()
● 5. 薬剤統計	
6. その他 ()	(9) 病歴業務システム
	● 1. 病歴情報管理
(4) 検査業務システム	● 2. 診療録管理
● 1. 検査受付	3. その他 ()
● 2. 入院検査オーダー	
● 3. 外来検査オーダー	(10) 診療・研究・教育業務システム
● 4. 報告書作成	● 1. 心電図解析
● 5. 精度管理	2. モニタリング
● 6. 検査統計	3. 文献情報
● 7. その他 ()	4. 生体情報
	5. その他 ()
(5) 材料部業務システム	(11) その他のシステム
● 1. 在庫管理	1. 人事管理
2. その他 ()	● 2. 物品管理
	● 3. 給与管理
	● 4. 病診連携システム
	● 5. 財務会計システム
	6. 健診システム
	7. その他 ()

【18】診療録管理体制

(該当する番号を選び●を付けてください。複数回答可)

● 1. 診療記録管理者が病院に配置されている。
● 2. 診療録管理体制加算に関する施設基準を満たしている。 (満たしている場合は2に●を付けて、以下3～12に回答しなくて結構です)
3. 診療録の全てが保管・管理されている。
4. 中央診療録管理室が設置されている。
5. 診療録管理委員会が設置されている。
6. 診療録管理に関する規定が明文化されている。
7. 「診療録管理体制加算」に関する施設基準を満たしている場合は、2に●を付けて、以下の3～12には●を付けないでください。
8.
9.
10.
11.
12.

【19】6月中の他の医療機関等への患者紹介・転送の状況

(該当する番号を選び●を付けてください。複数回答可)

情報の提供	情報伝達の方法
● 1. 紹介状 (症状・治療方針の要約等)	● 1. 電 話
2. 診療録 (写)	2. F A X
3. 検査結果 (写)	● 3. 電子メール
4. X線フィルム (写)	4. 画像伝送
5. その他	5. 光磁気ディスク
	6. I C ・光カード
	7. その他

【20】6月中の他の医療機関等への診療情報提供状況

1. 地域医療支援病院	19	6. 精神障害者施設	
2. 特定機能病院	4	7. 介護老人保健施設・介護医療院	7
3. 上記以外の病院	213	8. 保険薬局	
4. 診療所	46	9. 老人性認知症疾患センター	
5. 市町村・保健所・精神保健福祉センター		10. 学校医等	

病院運営実態分析調査票 8 (職員数)

(令和6年6月)

票番号	病 院 名
8	〇〇〇〇病院

数値を入力する欄において、該当がないときは空欄とし、「0」「0.0」「-」などを入力しないでください。

【21】 6月30日現在職員数 (2以上の部門又は2以上の職種を兼務している職員は、1名として再掲してください。非常勤職員と委託職員は別掲)

調査票9の「看護部門職員数」の合計とそれぞれ一致します。

常勤・非常勤・委託別		区分			
職 種					
○医師・歯科医師（管理専門医師を含む）		01	23.5	5.6	
看 護 部 門	△看護師	02	131.0	15.2	
	□准看護師	03	12.5	12.6	
	▽看護業務補助者（介護職員含む）	04	28.0	12.1	
	看護部門職員は調査票9【22】に再掲してください。				
薬 剤 部 門	◎薬剤師	05	9.0	1.1	
	▼その他の職員	06	3.0	1.5	
放 射 線 部 門	●診療放射線技師	07	7.0		
	●診療エックス線技師	08			
	▼その他の職員	09	2.0		
検 査 部 門	●臨床検査技師	10	9.0		
	●衛生検査技師	11			
	●その他の技師	12			
	▼その他の職員	13		1.0	
リハビリ部門	●理学療法士（PT）	14	11.0		
	●作業療法士（OT）	15	5.0		
	●視能訓練士	16			
	●言語聴覚士	17	2.0		
	●あん摩マッサージ指圧師	18			
	▼その他の職員	19	1.5	2.5	
栄 養 部 門	●管理栄養士	20	1.2		
	●栄養士（管理栄養士除く）	21	2.0		2.0
	▼調理師	22			5.0
	▼その他の職員	23	1.0		11.0
●歯科衛生士・歯科技工士		24			
●臨床工学技士		25	3.0		
●義肢装具士		26			
●介護福祉士 注③		27	4.0		
●その他の医療技術員（有資格者）		28	2.0		
■医療社会事業従事者（医療ソーシャルワーカー）		29	3.0		
■診療記録管理者		30	1.0		
事 務 部 門	■医事事務担当職員	31	21.5	2.0	4.0
	■医師事務作業補助者	32	4.5	2.5	
	■一般事務担当職員	33	16.5		
▼その他の職員		34	12.0	3.7	11.0
合 計		35	316.2	59.8	33.0

(注) ① 【21】 常勤職員数の合計は調査票9【23】 常勤職員数の合計と概ね一致します。（入力要領参照）
② 【21】 非常勤職員数の合計は調査票9【23】 非常勤職員数の合計と概ね一致します。（入力要領参照）
③ 介護福祉士を看護業務補助者として配置している場合は、看護部門の「▽看護業務補助者」欄に計上してください。

ケアマネジャー（再掲）	36	4.0	1.5	
-------------	----	-----	-----	--

④ ケアマネジャーは実務に係わっている有資格者を再掲（委託の場合は別掲）してください。

放射線・検査部門専属医師（再掲）	37	1.2		
------------------	----	-----	--	--

⑤ 放射線・検査部門専属の医師数を再掲してください。

病院運営実態分析調査票 9 (看護職員数・給与)

(令和6年6月)

票番号	病 院 名
9	〇〇〇〇病院

数値を入力する欄において、該当がないときは空欄とし、「0」「0.0」「-」などを入力しないでください。

【22】看護部門の職員の内訳

常勤・非常勤 職 種		区分	常 勤			非 常 勤		
			△看護師	□准看護師	▽看護業務補助者	△看護師	□准看護師	▽看護業務補助者
入院部門	一般病棟	01	64.0	6.5	13.0	5.9	7.6	5.0
	療養病棟	02	10.0	1.5	10.0	0.5	2.3	4.3
	精神病棟	04	13.0	1.0	0.5			2.0
	結核病棟	05						
	その他	06	2.0			1.8		
外来部門		07	18.0	2.0	2.0	6.0	1.2	
手術部門（注②）		08	11.0	1.0	1.0			
中材部門（注②）		09			1.0	1.0		
健診部門（注③）		10	2.0					
訪問看護・地域医療部門		11						
その他の部門（注④）		12	7.0		0.5		1.5	0.8
合 計		13	127.0	12.0	28.0	15.2	12.6	12.1

調査票8【21】 常勤・区分02と一致 常勤・区分03と一致 常勤・区分04と一致 非常勤・区分02と一致 非常勤・区分03と一致 非常勤・区分04と一致

- (注) ① 看護部門職員の合計は、職種・常勤・非常勤別にそれぞれ調査票8【21】6に入ります。
② 手術部門と中材部門を兼務している場合は、勤務時間比率で按分して記入してください。
③ 他の部門と兼務している場合は、勤務時間比率で按分してください。
④ 他の部門に属さない看護要員を計上してください。

調査票8の「看護部門職員数」とそれぞれ一致します。

【23】6月分の給与額

- (注) ① 調査票8【21】の●印の職員は「職員給与」に計上があります。
② 調査票8【21】の■印の職員は「職員給与」に計上があります。
③ 調査票8【21】の▼印の職員は「職員給与」に計上があります。
④ 給与額は毎月決まって支給される給与を含む月分給与額を計上してください。

「職員数」に計上があれば「職員給与」に計上があり、「職員給与」に計上があれば「職員数」に計上があります。
(確認例) 2671千円÷12.6人≒21万円(1人当たり給与)

職員数・給与額 職 種		区分	常 勤 職 員		非 常 勤 職 員	
			職員数	職員給与(千円)	職員数	職員給与(千円)
○医師・歯科医師		14	23.5	18,332	5.6	6,231
△看護師		15	131.0	39,712	15.2	3,598
□准看護師		16	12.5	3,347	12.6	2,671
医療技術員(有資格者)	◎薬剤師	17	9.0	2,879	1.1	352
	●その他の医療技術員	18	46.2	14,691		
■事務職員		19	46.2	14,691		
技能労務員	▽看護業務補助者	20	28.0	6,792	12.1	1,789
	▼その他	21	19.5	5,792	8.7	1,162
合 計		22	316.2	102,542	59.8	16,396

調査票10の「常勤職員給」へ転記してください。

調査票10の「非常勤職員給」へ転記してください。

調査票8【21】常勤職員数の合計と概ね一致します。(入力要照) 常勤職員給の合計を調査票10【24】6月分の 調査票8【21】非常勤職員数の合計と概ね一致します。(入力要照) 非常勤職員給の合計を調査票10【24】6月分の

病院運営実態分析調査票 10 (費用・ベースアップ)

(令和6年6月)

票番号	病 院 名
10	〇〇〇〇病院

数値を入力する欄において、該当がないときは空欄とし、「0」「0.0」「-」などを入力しないでください。

調査票9の「非常勤職員給」を転記してください。

【24】6月分の費用額

※ 調査票9の「常勤職員給」を転記してください。

科 目		(千円)
給 与 費	常勤職員給	102,542
	非常勤職員給	16,396
	臨時給与(賞与等)	36,314
	※退職給付費用	8,045
	法定福利費	15,899
医 材 料 費	投薬用	57,945
	薬品費 注射用	41,492
	その他	13,873
	診療材料費	24,571
	食事材料費(患者分のみ)	4,631
業 務 費	医療消耗備品費	13,978
	福利厚生費	2,988
	修繕費	871
	賃借料 土地・建物	1,987
	設備・器機	1,779
用 費	委託費	17,161
	◆租税公課	123
	◆保険料 病院・医師賠償責任保険	599
	その他	342
	◆減価償却費	23,091
医 業 外 費 用	※資産減耗損	232
	◆研究・研修費 図書費	290
	◆本部費分担金	798
	◆支払利息	1,241
	診療費割引	
看護師・准看護師養成費		
その他の医業外費用		2,121
※特別損失		
費 用 合 計		400,623

【24】非常勤職員給の合計を転記してください。

年末・期末に支給される賞与一時金を計上し次の計で算出してください。

$$\frac{\text{今年度本俸(基本給)} - \text{前年度本俸(基本給)}}{\text{前年度本俸(基本給)}} \times \text{前年度賞与支給総額} \times 1/12$$

賞与(1年分)の12分の1を計上してください。

退職給付費用(1年分)の12分の1を計上してください。

法定福利費(1年分)の12分の1を計上してください。

A. 期首棚卸額(5月31日) + 倉庫払出総額(6月中) - 期末棚卸残高(6月30日) = 6月中実消費額
 B. 6月中の倉庫払出総額を実消費額とみる。

6月中の消費額を計上してください。

患者分のみ計上してください。患者食事を完全に委託している場合は計上しないでください。

6月中に使用を開始したものを計上してください。

調査票2【7】外部委託実施状況に対応します。

令和6年3月31日現在の資産総額に基づいて算出される減価償却費の1/12を計上してください。

令和6年度1カ年における支払予定額の1/12を計上してください。

委託費の内訳

科 目	金額(千円)
(1) 患者食事	
(2) 滅菌	5,529
(3) 保守点検(医療機器)	2,342
(4) 清掃	3,081
(5) 感染性廃棄物処理	1,798
(6) 検査	765
(7) 医療事務	
(8) 内訳と一致します。	
(9) 物品管理(SPD)	110
(10) 診療録管理	
(11) 寝具類洗濯	761
(12) 病衣洗濯	341
(13) 歯科技工	
(14) その他	2,434
委託費計	17,161

【25】6月30日現在の令和6年度ベースアップ実施の状況

☐ 1. 実施した ☒ 2. 実施していない

該当する一方を選んで●を付けてください。

※法人税・住民税(別掲)	
納付消費税(別掲)	1,510

病院運営実態分析調査票 11 (収益・人間ドック・人工透析)

(令和6年6月)

票番号	病 院 名
11	〇〇〇〇病院

数値を入力する欄において、該当がないときは空欄とし、「0」「0.0」「-」などを入力しないでください。

【26】6月分の収益額・人間ドック・人工透析の状況

※ 調査票13の「入院収入額」の合計を転記してください。

調査票13【32】6月中の入院診療収入額の合計を転記して計上してください。

調査票14【34】6月中の外来診療収入額の合計を転記して計上してください。

調査票14【34】6月中の外来診療収入額の合計を転記して計上してください。

介護保険の居宅サービスに係る収入で、訪問看護、訪問リハビリテーション等を計上してください。

各種検査診療、手術検査等に関する収入を計上してください。

前年度の12分の1をマイナス計上してください。

人間ドック・人工透析に係る収入を計上してください。

令和5年度の1/12をマイナス計上してください。

令和5年度の1/12をマイナス計上してください。

他の病院又は診療所から委託された検査収入等を計上してください。

介護保険の通常実施地域を超える送迎収入等を計上してください。

前年度実績の12分の1を計上してください。

令和5年度分の新型コロナウイルス感染症関連の補助金(従事者への慰労金を除く)につきましても、実績額の12分の1を計上してください。

調査票13, 14の人工透析(再掲)に記入した延患者数(人)、病院で透析用として使用した透析器数(床)を入力してください。

調査票12

調査票14

合計を調査票11【26】6月分の収益額の入院収入の医療へ転記。

合計を調査票11【26】6月分の収益額の外来収入の医療へ転記。

科	目	金額(千円)	
医 業 収 益	入 院 収 入	1. 医 療	253,621
		2. 介 護	6,844
	特別の療養環境(室料差額)収入	1. 医 療	1,709
		2. 介 護	201
	外 来 収 入	1. 医 療	159,844
		2. 介 護	1,150
	公 衆 衛 生 活 動 収 入	1. 医 療	1,301
		2. 介 護	
	医療相談収入		1,201
	その他の医業収入	※査定減	1. 医 療
		2. 介 護	▲ 12
その他		1. 医 療	1,257
		2. 介 護	
医 業 外	※受取利息配当金	24	
	※看護学校収入		
前年度実績		79	
不付加利益			
収 益 合 計		427,215	
※他会計負担金・補助金等収入(別掲)		5,375	

医療相談収入等の再掲	金額(千円)	受診者数(人)
人間ドック	1日ドック[半日ドック含む]	654
	1泊2日ドック	326
	2泊3日以上	

人工透析収入等の再掲	金額(千円)	延患者数(人)	透析器数(床)
人工透析	9,011	3	11

(注1) 「他会計負担金・補助金等収入」は、令和5年度1カ年間実績額の1/12を計上してください。

(注2) 令和5年度分の新型コロナウイルス感染症関連の補助金(従事者への慰労金を除く)につきましても、実績額の12分の1を計上してください。

(注) 調査票13, 14の人工透析(再掲)に記入した延患者数(人)、病院で透析用として使用した透析器数(床)を入力してください。

(確認例) 1日ドック 654千円÷16人≒40875円(1人当たり)
1泊2日ドック 326千円÷5人≒65200円(1人当たり)

科	目	金額(千円)	
医 業	入 院 収 入	1. 医 療	13,000
		2. 介 護	
	特別の療養環境(室料差額)収入	1. 医 療	9,263
		2. 介 護	291
外 来 収 入	1. 医 療	8,525	
	2. 介 護		

調査票	金額(千円)	延患者数(人)	透析器数(床)
14	8,525		

歯科	
以外	
計	8,525

病院運営実態分析調査票 12 (業務量等・有形固定資産・敷地面積)

(令和6年6月)

票番号	病 院 名
12	〇〇〇〇病院

数値を入力する欄において、該当がないときは空欄とし、「0」「0.0」「-」などを入力しないでください。

【27】 6月中の検査件数・画像診断・処方せん・食事・手術の件数等

(1) 6月中の検査件数

検査件数	38,065	件
------	--------	---

(注) 検査件数は、検査室で行った検査の件数を計上してください。(①検査室で行ったもの。②RI検査を除く。③を含む。)

外
①
(確認例) 調査票8「検査部門職員数」10人×30日=300人(検査部門延職員数)
38065÷300人≒127件(検査部門職員1人1日当たり検査件数)

② 病院が外部から委託を受けて実施した検査

検査件数(別掲)	27	件
検査受託収入額(別掲)	1,091	千円

(2) 6月中の画像診断(RIを含む)部門の延患者数

患者延数(健康診断含む)	2,671	人
--------------	-------	---

(3) 6月中の処方せん枚数・院外処方せん発行率・調剤件数・薬剤管理指導延回数

院内処方せん枚数(入院投薬+外来投薬)	17,359	枚
院外処方せん枚数(外来投薬)	171	枚
院外処方せん発行率	1.0	
調剤件数(入院投薬+外来投薬)	24,060	件
薬剤管理指導延回数(件数)	393	回

(注) 調剤件数は処方せんに書かれている調剤の件数の合計を計上してください。

(「入院時食事療養費」および「入院時生活療養費」の算定の如何についてご回答ください。)

(4) 入院時食事療養費・入院時生活療養費

☒ 入院時食事療養費	☒ 入院時生活療養費
--	--

(5) 6月中の患者延食事数(食事日数でないことに注意)

一般食(全部委託している場合は記入しない)	8,489	食
特別食(全部委託している場合は記入しない)	7,981	食

(確認例) 調査票10「食事材料費」4631千円
調査票12「一般食+特別食」16470食
4631千円÷16470食≒281円(1食当たり食事材料費)

(6) 6月中の手術件数(手術室で行ったもの)

全身麻酔で行った手術	68	件
全身麻酔以外で行った手術	116	件

【28】 有形固定資産額(令和5年度末現在)

償却後の資産額により計上してください。金額単位を間違えないよう注意してください。

単位は全て「千円」単位ですので、桁数に注意してください。

参考例:

1,000,000(7桁) = 10億円
100,000(6桁) = 1億円

金額(千円)	1,587,813	千円
	436,987	千円
	523,498	千円
その他の有形固定資産	212,398	千円
合 計	2,760,696	千円

土地(別掲)	1,987,238	千円
--------	-----------	----

(確認例) 調査票8「薬剤師(常勤+非常勤)」
10.1人×30日≒303人(延薬剤師数)

17359(院内処方せん枚数)÷303人≒57枚
(薬剤師1人1日当たり院内処方せん枚数)

24060(調剤件数)÷303人≒79件(薬剤師1人1日当たり調剤件数)

面積の単位は平方メートルです。桁数に注意してください。

参考例:

東京ドーム = 46,755 m²
国会議事堂 = 103,001 m²

面積(m ²)・台数(台)	17,898	m ²
	1,750	m ²
	70	台
	55	台

建物の延面積	7,560	m ²
病棟部門	2,430	m ²
外来部門	3,440	m ²
中央診療部門	5,940	m ²
管理・サービス部門	19,370	m ²
建物の延面積合計		

「病棟」「外来」「中央診療」「管理・サービス」の4部門に分けて計上してください。(※特に「中央診療部門」)

票番号
13

病院運営実態分析調査票 13 (延医師数・入院延患者数・入院収入)

DPCにおける包括評価部分は、この列に計上してください。DPC対象病院ではない病院は、この列には入力しないでください。

【30】 6月中(30日間)の診療科別延医師数(入院+外来)

【31】 6月中の入院延患者数

【32】 6月中の入院診療収入額

DPC対象病院は、この列に計上があります。逆に、DPC対象病院以外は、この列には計上しないでください。

(確認例) 調査票1 20. DPC対象病院
21. DPC準備病院

※DPC対象病院なら、調査票1に●を付ける。この列に計上する。

(確認例)

調査票1

20. DPC対象病院
21. DPC準備病院

※DPC対象病院でない場合は、調査票1に●を付けない。

この列に計上しない。

調査票13

区分	診療科 注：下記の診療科以外の科がある場合は、最も近似する科に含めてください。	6月中の診療科別延医師数 (入院+外来)	6月中の入院延患者数 [入院延患者] [退院患者]	入院料等					入院時食事療養費
				DPC包括評価部分	入院基本料	入院基本料加算	特定入院料	その他 (室料差額は除く)	
01	内科	321.0	3,001		55,892	4,928		121	4,459
02	呼吸器内科								
03	循環器内科	91.0	698		13,431	9,827		234	1,231

人工透析は「処置料」に含めて計上し、こちら再掲してください。

6月一カ月分の延医師(入院と外来)数です。

患者数に計上がある診療科は、その診療科の医師数を計上することにご注意ください。

区分	診療科	延医師数 (入院+外来)	6 月中の 診療科別 患者数 〔入院延患者 +退院患者〕	DPC 包括部	入 院 料 等				入院時食 事療養費 (入院時生活療養 費の食費を含む)	医学管理等	検 査 料 (RI除く)	画像診断料 (RI含む)	投 薬 料	注 射 料	リハビリテ ーション料	精神科専門 療 法 料	手 術 料	処 置 料 (人工透析含む)	放 射 線 治 療 料	病理診断料	そ の 他	合 計	診 療 科	区 分	(再掲)
					基本料	入院基本 料等加算	特定入院料	その他 (室料差額は除く)																	
01	内 科	306.4	2,992	50,523	4,614	819	16,038	271	5,606	1,582	2,332	371	1,055	738	7,407		13,111	1,694			101	106,262	内科	01	
02	呼 吸 器 内 科																						呼内	02	
03	循 環 器 内 科																						循内	03	
04	消 化 器 内 科〔胃腸 内 科〕	120.0	787	11,491	2,982	935		21	1,123	34	1,786	891	574	2,432	2,149		2,167	779		391	155	27,910	消内	04	
05	神 経 内 科	27.0																					神内	05	
06	皮 膚 科																						皮膚	06	
07	小 児 科																						小児	07	
08	精 神 科	60.0	541				12,754	13	937	34	32		23	21		1,321					122	15,257	精神	08	
09	外 科	240.5	1,433	39,022	9,007	1,347			2,652	734	519	276	450	231	161		25,674	1,455			221	81,815	外科	09	
10	呼 吸 器 外 科																						呼外	10	
11	心臓血管外科																						心外	11	
12	消 化 器 外 科〔胃腸 外 科〕																						消外	12	
13	泌 尿 器 科	18.0																					泌尿	13	
14	肛 門 外 科																						肛外	14	
15	脳神経外科																						脳外	15	
16	整 形 外 科	61.5	598	11,231	981	127		2	1,323	255	84	101	140	23	2,864		4,749	420			77	22,377	整外	16	
17	形 成 外 科																						形外	17	
18	眼 科	4.0																					眼科	18	
19	耳鼻いんこう科																						耳鼻	19	
20	小 児 外 科																						小外	20	
21	産 婦 人 科																						産婦	21	
22	婦 人 科																						婦人	22	
23	リ ハ ビ リ 科																						リハ	23	
24	放 射 線 科	30.1																					放射	24	
25	麻 酔 科																						麻酔	25	
26	歯 科																						歯科	26	
27	上記以外の診療科																						以外	27	
28	合 計	867.5	6,351	112,267	17,584	3,228	28,792	373	11,641	2,639	4,753	1,639	2,242	3,445	12,581	1,321	45,701	4,348		391	676	253,621	計	28	

医師数の合計は調査票8【21】医師数(常勤+非常勤)×30日と同じです。6月中の患者数等の(3)退院患者数は少なくありません。

(確認例) 調査票8「医師数(常勤+非常勤)」29.1×30日=873人 ※873人を超えない。

調査月に実際に診療

(確認例) 調査票3

4236+1270+845+0+0=6351

合計 602.5 2,651 57,340 37,165 (6)入院延患者数 2,651

票番号 8

【21】 6月30日現在職員数

職 種	区分	常 勤		非常勤
		常 勤	非常勤	
○医師・歯科医師(管理専門医師を含む)	01	17.0	4.8	

※ (17.0+4.8) × 30 = 654.0
602.5 ≤ 654.0

合計を調

調査票11「入院収入(医療)」へ転記してください。

【33】6月中の外来延患者数

【34】6月中の外来診療収入額

外来収入に計上がある診療科は、その診療科の患者数と「調査票13【30】6月中(30日間)の診療科別延医師数」に医師数を計上することに注意してください。

(注) ① 金額の単位は千円単位です。各項目の数値は四捨五入して計上し、合計は縦横一致させてください。
例えば、546,411円の場合は、「546」と入力してください。

② 入院患者数・入院収入は、この票に含めないでください。

数値を入力する欄において、該当がないときは空欄とし、「0」「0.0」「-」などを入力しないでください。

人工透析は「処置料」に含めて計上し、こちらに再掲してください。

区分	診療科 注：下記の診療科以外の科がある場合は、最も近似する科に含めてください。	6月中の 外 来 延 患 者 数 (新来＋再来)	※特に、初診料と再診料 月中の診療収入額（金額単位：千円）															診療 科	区 分	(再掲) 人工透析
			初 診 料	再 診 料 (外来診療料)	リハビリテーション等	在宅医療料	検 査 料 (RI除く)	画像診断料 (RI含む)	投 薬 料	注 射 料	リハビリテー ション料	精神科専門 療 法 料	手 術・処置料 (人工透析含む)	放 射 線 治 療 料	病理診断料	そ の 他	合 計			
01	内 科	3,871	1,036	3,964	2,962	7,118	16,987	5,455	39,227	5,954	942	4,175			12	87,832	内科	01	67	
02	呼 吸 器 内 科																呼内	02		
03	循 環 器 内 科																循内	03		
04	消 化 器 内 科 ^{胃腸内科}	438	238	376	769	98	3,028	2,646	3,947	9,235	10	91			123	20,561	消内	04		
05	神 経 内 科	751	32	581	202	211	405	2	397	9	138	14				1,991	神内	05		
06	皮 膚 科																皮膚	06		
07	小 児 科																小児	07		
08	精 神 科	91	05 神 経 内 科	27.0		19									2	607	精神	08		
09	外 科	826				55	2								227	15,368	外科	09		
10	呼 吸 器 外 科																呼外	10		
11	心臓血管外科																心外	11		
12	消 化 器 外 科 ^{胃腸外科}																消外	12		
13	泌 尿 器 科	120	16	70	63		297	182	77	623		12,321			154	13,803	泌尿	13	8,944	
14	肛 門 外 科																肛外	14		
15	脳神経外科																脳外	15		
16	整 形 外 科	1,263	13 泌 尿 器 科	18.0		36	171	1,282	3,868	295	1,069	376			215	8,558	整外	16		
17	形 成 外 科																形外	17		
18	眼 科	48	15	36	11		70	132	55	3		34			26	382	眼科	18		
19	耳鼻いんこう科																耳鼻	19		
20	小 児 外 科																小外	20		
21	産 婦 人 科		18 眼 科	4.0													産婦	21		
22	婦 人 科																婦人	22		
23	リ ハ ビ リ 科																リハ	23		
24	放 射 線 科	86	191	23	212		5	1,190	78			231	8,700		112	10,742	放射	24		
25	麻 酔 科																麻酔	25		
26	歯 科																歯科	26		
27	上記以外の診療科		24 放 射 線 科	30.1													以外	27		
28	合 計	7,494				7,537	23,506	14,296	52,557	18,025	2,246	135	17,749	8,700		871	159,844	計	28	9,011

6月中の外来延患者数の合計は、調査票3【10】6月中の患者数等の(7) ①新来患者数、②再来患者数の合計と概ね一致します。（ここには介護保険の対象者は含まれませんので、介護保険の対象者がいる場合は少なくなります。）

票番号 14 (入力例)

診療科 6月中の外来延患者数 (新来+再来)

内科 96.0 326

婦人科 21.0

合計 7,902 2,038

票番号 13

診療科 6月中の診療科別延医師数 (入院+外来)

内科 975 504

婦人科 165 206

合計 7,902 3,623

(確認例) 調査票3
667+6827=7494

合計を調査票11【26】6月分の収益額の「入の医療」へ転記してください。

調査票11「外来収入(医療)」へ転記してください。